

平成31年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<p>①授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習指導を行う。 ・「聞き取る力」「読み取る力」「書く力」「要約する力」「説明する力」を高める学習指導を行う。 ・生徒の主体的・協働的な学習を重視し、学習内容の深まりと拡がり追究する学習指導を行う。 <p>②教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路を見据えた「学びのコンセプト」に基づく教育課程を実践する。 ・これまでの福祉教養コースで取り組んできた成果を学校全体の特色とする教育課程を編成する。 	<p>①授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、対話的な学習をとおして様々な学習力観に対応する力の育成を目指し、学習の深まりと拡がり追究する。 ・ICTを活用し分かりやすくテンポの良い授業展開の工夫を図る。 ・読書の大切さの醸成と読み取る力の育成につなげるために、授業での図書室の活用と読書量の増加を図る。 <p>②教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特学クラスを中心に夏期講習・各種検定試験の促進と充実を図る。 ・福祉の心の醸成と福祉的活動への積極的参加を促し、他者への配慮ができる生徒の育成を目指す。 	<p>①不断の授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善プロジェクトチームを編成し、ICT活用や効果的なグループ学習の二本柱で研究授業を計画し各教員の授業に活かす。 ・教員一人ひとりの効果的な授業の取組みを研修会等で共有し、教員の授業改善への意識を高める。 ・各教科内で統一感の指導に向け、日ごろの相談・検討を充実させる。 ・小論文などにより「書く力」、資料の活用や図書館の利用などにより「読み取り力」や「要約する力」、他者へ説明をとおして「説明する力」などの育成を目指した機会を増やす。 ・クラス単位で貸し出せる本の整備をする。 <p>②教育課程の改編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏期講座の内容を充実させるとともに、生徒の参加を促す。 ・英語検定、漢字検定等への積極的受検を促す。 ・ICT活用型の学習教材の積極的活用を促す。 ・「朝チャレ」の学習効果を上げられる課題内容の見直し。 ・総合的な学習の時間や探究の時間などを使って福祉の心を醸成する取組みの実施と内容の精査を行う。 	<p>①・生徒による授業評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科会における教員相互の評価 ・本校主催の地域教育懇談会での授業参観における地域の方々の評価 ・管理職による授業観察の評価 ・生徒の発表や小論文等の成果物の達成状況 ・図書館の利用状況調査 <p>②・夏期講座の内容の充実度と参加者数の昨年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定試験の受験者数の昨年度比 ・特学クラスと他クラスとの評定平均値の比較 ・模擬試験結果の昨年から伸び率 ・「福祉教育の全体計画」に基づく福祉活動実践件数とアンケート結果 						

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
2	生徒指導・支援	<p>①規範意識を醸成するとともに、責任感や連帯感の涵養を図る。</p> <p>②自己管理能力を高め、他者を理解する心を育む。</p> <p>③教育相談体制の一層の強化を図る。</p>	<p>①部活動や生徒会行事を活性化し、責任感の向上、連帯感の育成を図るとともに校内での挨拶、ルールを守る大切さの涵養を目指す。</p> <p>②生徒間の人間関係の状況を把握し、トラブルの未然防止につとめる体制を強化する。</p> <p>③困っている生徒の早期発見につとめ、重篤な問題に至らない職員体制を継続する。</p>	<p>①・新入生オリエンテーション等の機会に入部している生徒自らが部活動の意義を訴え、入部率の向上を目指す。</p> <p>・生徒会を中心とした行事へ生徒が積極的に参画する姿勢の醸成をはかる。</p> <p>②・日々の丁寧な生徒状況の把握と迅速に情報共有をはかる。</p> <p>・年2回いじめ防止アンケートを実施し活用する。</p> <p>③校内教育相談体制に基づき迅速な報告・連絡・相談に努め、適切な生徒対応を行う。</p>	<p>①部活動や行事に係る生徒アンケートの実施で生徒の充実感を確認する</p> <p>②生徒の指導内容及び件数と昨年度比(特にSNS関連の指導件数と昨年度比)</p> <p>③課題の解決に至った件数と昨年度比</p>					
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの進路実現を果たす。</p> <p>②大学・短大進学における一般受験希望者数の増加を図る。</p>	<p>①上級学校見学や職業意識の醸成の機会を増やし、生徒の進路意識の醸成と自らが望む進路実現計画の支援を行う。</p> <p>②進学意識の向上を図るとともに模擬試験や学力テストの機会を増やし、生徒の進学力を高める。</p>	<p>①上級学校見学や職業体験の参加者数を増やすとともに学習・進路ナビの学習ワークシートを活用し意識の定着を図る。</p> <p>②大学受験への意識付けができる業者模擬試験を導入し、一般受験への挑戦者数増加を加速する。</p>	<p>①上級学校見学や職業体験の参加者数の昨年度比</p> <p>②模擬試験受験者、一般入試受験者、センター入試受験者の昨年度比</p>					
4	地域等との協働	<p>①人とつながり福祉の心を涵養するとともに、社会とかかわる力を育成する。</p> <p>②地域の教育力を活用する。</p>	<p>①機会を捉えて「福祉の心」の涵養を目指し、生徒が地域から必要とされているとの実感や達成感を育成する環境とつながりを創出する。</p>	<p>①生徒の意識の醸成をはかり、地域のボランティア募集や地域行事の情報を職員間で共有し、生徒が参加する機会を増やす。</p>	<p>①福祉活動への参加者数と昨年度比</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①いのちを尊重する教育を推進する。</p> <p>②防災教育、防災体制を強化する。</p> <p>③交通安全教育を推進する。</p>	<p>①健やかな身体と自己肯定感を育み、生きることの尊さを学ぶ機会を増やす。</p> <p>②安心安全な学校生活を目指し、防災訓練をとおして緊急時の対応の育成を目指す。</p> <p>③自転車事故の未然防止と駐輪指導に取り組む。</p>	<p>①定期的に教育相談担当者会議をおこない、各学年へ生徒情報を発信し、共有をはかるとともに適切な講演会等を実施する。</p> <p>②緊急時の対応を何度でも確認し、学校全体が適切に対応するための意識づけを行う。</p> <p>③自転車での通学、校内駐輪等のマナーアップをはかる。</p>	<p>①生徒の情報共有が十分にでき、適切な支援ができたか</p> <p>②避難地域住民への対応を想定した訓練が実施できたか</p> <p>③登下校の自転車事故件数の昨年度比</p>					